

2022年の十大ニュース

1. 2022年の棚卸

右上は、今年の十大ニュースです。何と言ってもトップニュースは7年前に発見されていた大動脈瘤の手術を先送りしていたが坂本先生に出会って手術を受ける気になった事です。7年前は母の介護もあって手術を受ける状況ではなかったが、3年前に他界し実家を相続してリフォームし三男が住むようになるなど、家庭的な環境は安定しました。経営的にも、去年実施した事務所のレイアウト変更で展開が変わり、山口さんが常勤するようになった等と安定化しました。この安定の中で大阪警察病院の坂本先生に出会ったのです。この6年半で外来担当医が3人代わり4人目の方です。この方はいきなり「毎年、1ミリずつ大きくなっている」と切り出して人工血管の模型を見せながら手術の話に終始されたのです。個人的には「52ミリやったら前と変わらない」と思いながら、返事を保留して帰り、行きつけの喫茶店でこの話をしたら、偶然いた方が「天の声かも」と言ってくれて考え直したのです。

早速、次週の予約を取り、10月に手術する方向でお客様と調整したのです。約2週間の入院という話だったので、月末の会議を優先する方向で調整をして坂本先生に再会したのです。1日半の大手術なのでスタッフが揃う時期が限られており、10月13日入院、17日18日手術と決まったのです。右下の図のように□で囲った部分を切除して人工血管に変えるとの

事で、胸を切開して心臓を止め、人工心肺に接続して手術との事だった。実際には麻酔で体温を20度に落として脳への血流を抑えながらの手術という事でした。無事に手術は終わり100%成功だから100%元に戻るように頑張ってくださいとの坂本先生の言葉だった。

しかし、2週間で退院というイメージは大違いで、手術・ICUで1週間、一般病棟1週間で傷が落ち着く期間だった。つまり退院しても自宅養生で体力の回復が必要だったのです。だが、10月末に退院して、その夕方にオンラインで会議というスケジュールだった。幾ら自宅からオンラインでも体力が消耗して体温が34.8度に下がる程だったので、体力の回復が課題になった。その為には食事を多く摂ったのですが、この結果、1週間後に右足の親指の付け根に痛風が発症したのです。この結果、歩くという機能回復が遅れる結果になり体力が回復しても杖をつきながらの歩行という状態が続きました。

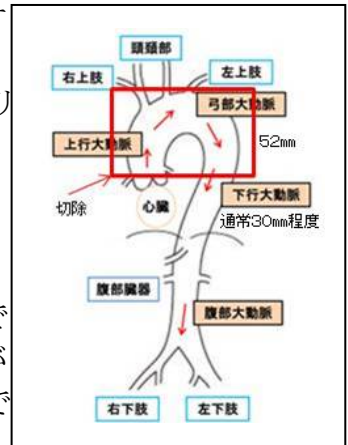
2. 生活スタイルの転換

前述のように10月に受けた手術で生活スタイルが大きく変わった。それまでは不十分ながらも掃除を行なって整理整頓もそれなりに気を付けたが、退院後の生活は「やっと生きている」という感じです。確かに、胸はあばら骨が切開されており、胸ベルトをして骨が'くつつく'まで時間がかかる状況です。従って、重い物を持ち上げるのを避けており、例えば、畳に布団を敷くのではなく、ベッドで寝起きという状況です。掃除は、最近、やっとするようになったという状況で、どうか整理整頓が始まっています。

仕事は、毎日、午前中に出社して仕事して、午後はリモートワークで自宅からという形になっています。従って、最低必要現の仕事に限られています。お陰でお客様もご理解して頂きオンライン会議が多くなり、資料を準備して行なうようになり効率化できています。しかし、オンラインの限界があるので、スマホが「かけ放題」なので事前の打合せなどでフル活用しています。「ムダ話」にも効用があり、会話の中で思わぬ発想が浮かぶ事があります。面談には及ばないが、仕事上では有効な手段になっています。

2022年の十大ニュース

1. 大動脈瘤の手術
2. 見積システムFax自動化
3. RPA&自動FAX
4. マル経融資(継続:3回目)
5. メルマガのバックログ機能
6. FaxDMで新規開拓
7. 知人がコロナで急死
8. 4回目ワクチン接種
9. 新HPでPDF連携化
10. コロナで家族会なし(ZOOM)



3. その他の出来事

社用車に使っている三菱エアトレックは23年目の車検を受けました。自宅マンションの立体駐車場(立駐)に止めており、その立駐の解体工事の話が長年の課題になっており、経年劣化の他に立駐の制約で車高155cm以下、車重1.5トン以下があり、最近のクルマが規格オーバーになっているという状況があり、クルマを代替する事が出来ず、長年、継続車検を受けています。実は、10月に手術を受け、その回復具合では廃車も考えていましたが、経過が良いので出来る限り乗ろうと覚悟して12月に車検を受けました。驚く事に過去2年間の走行距離が3千キロで、殆ど仕事で乗っていない事を物語っています。

事務所のあるマンションの老人会に入って世話役をしています。コロナ禍で全体の活動は休止していますが、今年の春、事務所のレイアウト変更して普段は4人掛けだが、両肘を広げると6人掛けの作業用テーブルを設置しているので、これを利用して「Cafeひまわり」というお茶会を開催しています。6人掛けですが、両サイドも使うと8人が利用できる状態です。日曜日の午後、集まって頂いてトランプなどのゲームをして喜んで頂いています。この中の男性が盆休みの頃にデイサービスでコロナに感染して亡くなりました。身近な方が急死されたので驚いています。この後、人数を6人に制限してマスク会食や換気に気を付けて継続中です。

仕事では新しいHPはCMS方式が謳いなので、自分でメンテするようにしています。日常で発生する物ではメルマガの配信記録を自動的にバックログとして記録されるように変更しました。また、自社の資料もアップデートできるようになり、メルマガの質的向上に役立っています。また、HPのコンテンツの改善も変更指示書を作り、HP制作のエクストリンク社がメンテしてくれるルートをつくり一部展開しました。

4. 今年発生した課題

手術を担当して下さった坂本先生は「100%手術に成功したから100%元に戻るようにリハビリしてください」と例えば体温20℃に下げて脳に血栓が出来ないように麻酔科の先生と頑張ってもらって頂き言語障害などは起こっていません。この完全復帰が課題です。そのバロメーターは歩行で手術前は1日6キロ歩行を行っていたので、ようやく2キロ程度の状況です。息切れははしくなりましたが、足の筋力が衰えたままです。この基礎的な部分の回復が課題です。また、仕事も毎日していますが午前中で、午後は自宅からリモートという形から、最近、やっと午後も出勤するようになりましたが集中力が維持できない状態です。

その他のバロメーターでは血圧は降圧剤を飲まなくても上が110、下が60程度と正常値になっているが、反面、人工血管の為に血液をサラサラにする薬(ワーファリン)を服用しているので、今までの栄養補完に飲んでいた青汁が飲めなくなっています。食事で栄養バランスを保つ必要があるので、より自炊に励んでメニューを増やしたいと思っています。また、ワーファリンで人工血管をキレイに保っているのですが、細菌による炎症が禁物なので炎症に即対応するように心がけています。

このように、個人的な事は良い方向に展開していますが、残る課題は、社業の発展です。2025年事業承継と旗を掲げて頑張っています。例えば、システム開発では販売管理を見積の自動Faxするアプリから始めて一連の納品書作成までの工程を繋げる開発を行っています。お客様にとって来年度から電子帳票化の課題が現実化するので間に合うように開発をしてもらっています。お客様にピッタリのシステムを提供するというコンセプトを実現したいと思っています。これらがお客様に評価されて、横展開できるように願っています。個人的には、サラリーマン時代からの「Do指示」システムの完成を願っています。マーケティングからアプローチ・クロージングの工程を客観的に管理してマーケティングの生産性向上を図るシステム化です。

【AMIニュースのバックログは <http://www.web-ami.com/siryo.html> にあります！】